

平成から改元の新年へ、日本の伝統に親しむ

舞楽・雅楽／天台声明

解説 & 鑑賞 入門講座



平成30年11月30日(金)

午後6時半開演／舞楽・雅楽

受講料／5,000円(税込)

出 演／天王寺楽所(がくそ)より

解説 小野真龍氏



平成30年12月12日(水)

午後6時半開演／天台声明

受講料／4,000円(税込)

出 演／解説と実演 齊川文泰師



電話

03(3392)8891

販売・日本テレビ文化センター荻窪(午前10時～午後8時)

よみうりカルチャーの各センターでも受け付けます。バスマーケット
でもお申込できます。QRコードをお使いください。

会場

読売新聞東京本社 3階

(地下鉄大手町駅 C3出口)

販売・日本テレビ文化センター

よみうりカルチャー

■新年、神田明神祭務所地下ホールにて1月23日(水)「舞楽」、1月30日(水)と2月13日(水)「声明」を予定しています。

雅樂

声明

舞楽・雅楽入門／天王寺舞楽に触れる

皇室行事や神社などで奏でられる雅楽は、元来は中国や朝鮮半島からの外来音楽でした。講座で

は、このような日本の雅楽の成り立ちから歴史を遡ってお話をするとともに、雅楽樂器やその音色を、小さな会場の間近な実演によって拝聴していただきます。

後半では、簡略化した編成ではあります、「天王寺舞楽」の「デモンストレーション」を行い、舞楽「萬歳樂」をお楽しみいただきます。

◆解説 小野真龍氏

天王寺舞楽協会常任理事、京都大学大学院非常勤講師。幼少より天王寺舞楽の伝統に身を置き、四天王寺の「聖靈

会」をはじめ住吉大社、嚴島神社等の舞台で伝承・演奏活動を重ねている。ホールでの演奏活動、海外演奏経験も豊富。天王寺樂所雅樂伝習所、浄土真宗本願寺派勤式指導所などで教えている。

◆出演 天王寺樂所（がくそ）

龍笛／中原詳人／筆篥／前川隆哲／笙・林絹代／万歳樂舞人・小野真龍鳳

寺西覚水

天王寺樂所と舞楽

聖徳太子が命じて、四天王寺における仏教法会の樂舞を担うべく「天王寺樂所」が設置されました。『徒然草』では「都に恥じず」と評価され、江戸時代には、大内樂所（宮中）、南都樂所（興福寺・春日大社）と協働して、三方樂所の一角として雅樂・舞樂を伝承しました。

明治維新後、雅樂局（宮内庁式部職楽部の前身）設置のために三方樂所の樂人が東上しました。これに伴い、天王寺樂所の伝統を継承する民間団体「雅亮会」が結成され、その流れを引き継ぐ「以和貴会」が「天王寺樂所」として活動しています。

四天王寺の広大な石舞台で演じられるために、大振りでダイナミックな舞態を目指し、聴衆たちの仏縁を深めるための、明確で魅力的な舞振りが特徴です。宮内庁樂部では途絶してしまった様々な故実や所作を伝承し続け、昭和51年に国的重要無形民俗文化財「聖靈会の舞楽（天王寺舞楽）」に指定されています。

◆解説・演者（指導） 齊川文泰師

延暦寺学園叢山学院教授。吉祥山實相寺・多聞寺・大乗院住職。比叢山高校・叢山学院で「法儀聲明」を長く担当している。1989年よりポルトガル・ロシア・

ドイツ・フランスなどで数十回の聲明公演を行う。近年は「魚山流天台聲明研究會」を率い、チエコの「ヨーロッパ各国で催行。CD『遙聲』（ソニー・ヨーロッパ）他がある。



Tel. 03(3392)8891

読売・日本テレビ文化センター荻窪（午前10時～午後8時）

よみうりカルチャーの各センターでも受け付けます。パスマーケットでもお申込できます。QRコードをお使いください。



●会場
読売新聞東京本社3階

●所在地 東京都千代田区大手町1-7-1
●アクセス 大手町駅C3出口直結
東京メトロ……○千代田線 ○丸の内線 ○東西線 ○半蔵門線
都営地下鉄……○三田線

平成30年11月30日(金)
午後6時半開演／天王寺舞楽



受講料／5,000円（税込）
出 演／舞楽・雅楽——天王寺樂所（がくそ）より
解説 小野真龍氏

平成30年12月12日(水)
午後6時半開演／天台声明



受講料／4,000円（税込）
出 演／天台声明——解説と実演 齊川文泰師